

岩村地区老人クラブ連合会代表の小川信彦さんが司会を担当、先ず藤本明子先生の指導による手遊びから始まり子供とお年寄が一つの輪になって、大きな栗の木の下で、「あんたがたどこさ」等の曲に合わせて身振り手振りよろしく先生の軽妙な司会で盛り上がりました。続いて小川さん達の指導でフ

ふれあいセンターで八月二十五日、岩村地区の子供会と老人クラブの交流会が開催されました。当日は子供二十名、お年寄十八名と岡崎館長さんも出席され楽しいひと時を過ごしました。

子供会、老人クラブ交流会



平成19年4月42名の新一年生が期待とちよっぴり不安を抱いて香南中学校の入学式に参加しました。その中には岩村地区からの7名の新入生も含まれています。

入学式の朝小学校との大きな違いは制服との格闘です。親から見れば少し大きめの制服は制

19年度香南中PTA副会長 甲藤 雄一

「究めよ香南中学校 真理と夢未来に！」

が印象的でした。司会者の「来年はどうしましょうか」の問いかけに、またやってもらいたい」という意見が多かったようです。北岡淳さん寄稿

リスビー、ゲーム、おじゃみ、こま回し、子供と老人対抗のジャンケンを行い最後に景品（老人クラブ提供）付きのビンゴゲームで閉会となりました。

交流会は終始なごやかな雰囲気で行われ特に子供さんの笑顔

服が歩いているようにしか見えませんが我が子が中学生になったんだなあ実感したひと時でもありました。と、同時に卒業時には立派に制服を着こなして巣立つてくれる事を夢見たひと時でもありました。

期待と希望に輝く瞳の42名を迎える在校生（二年30名、三年45名）や教職員（16名）は表題を目標に校訓（礼儀、活気、友愛）を胸に卒業生達が残して下さった文武両道の校風を究めるべく、新入生が毎日笑顔で通い元氣ハツラツと帰宅出来る学校運営に労力と知恵を惜しまない活動を毎日心掛けて実践しています。学業面では活発な取り組みが県や市の教育委員会より注目され視察をうける水準での実施がなされ、部活動では技術力以上に精神力や礼儀・活気・友愛のまさに校訓の実施を継続し、今年も男子バレー部や卓球部は県大会でも優秀な成績を納める事に、また他の部活の生徒も競技結果以上に人間としての豊かな成長を納める事に成功しました。

先生方の努力はもとより地域の方々や家族の支えがあつてこそその成果なんだと子供達が気付いてくれたら！と願います。ど

岩村地区に子供達の笑顔と歓声がいままで絶える事がないよう、今後も地域の宝を地域と共に各家庭で見守っていくことから始め、続けていきたいと思っております。

の子も3年間の学びの時が過ぎれば中学校を巣立っていきま

す。なかなか親の希望通りにはいきません（私自身もそうでしたように）が、岩村地区をはじめ多くの子供達が「心豊かにたくましく育つ」ことが出来るよう手助けしていきたい（くれぐれも手出し口出しは要注意と肝に銘じ）と考えています。



の子ども3年間の学びの時が過ぎれば中学校を巣立っていきま

す。なかなか親の希望通りにはいきません（私自身もそうでしたように）が、岩村地区をはじめ多くの子供達が「心豊かにたくましく育つ」ことが出来るよう手助けしていきたい（くれぐれも手出し口出しは要注意と肝に銘じ）と考えています。